

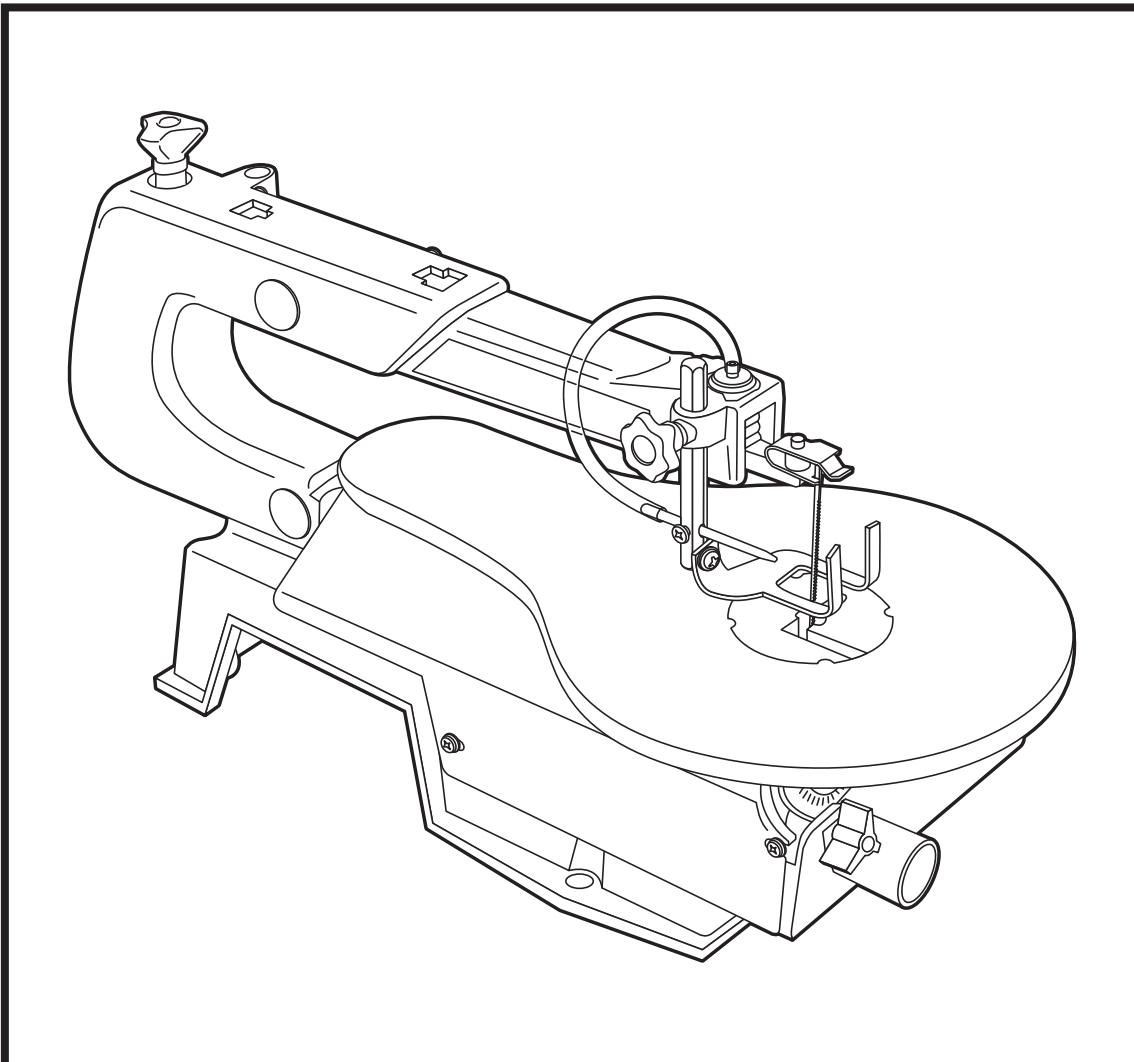


Fujiwara
Sangyo Co.,Ltd.
HYOGO MIKI

卓上糸鋸盤

SSC-400PE

取扱説明書



このたびは、卓上糸鋸盤をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
お使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しく、安全にご使用ください。
また、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

目次

1. 仕様・各部名称	2~4
仕様	2
各部名称	3
寸法図	4
2. 安全上のご注意	5~10
安全確保のために	5
警告表示・注意表示について	5
絵表示について	5
電動工具を安全にご使用いただくために	5~8
卓上糸鋸を安全にご使用いただくために	8~9
ご使用前の準備	10
3. 使い方	11~17
ご使用前の準備	11
糸鋸刃の取り付け方(ピンエンドタイプの場合)	12
糸鋸刃の取り付け方(通常タイプ：ピンなしの場合)	13
テーブル／プッシャー／エアブローノズルの調整	14
切断作業	15
4. 保守・点検	18~19
集塵接続口について	18
作業後の保管	18
故障内容と対処方法	19

仕様・各部名称

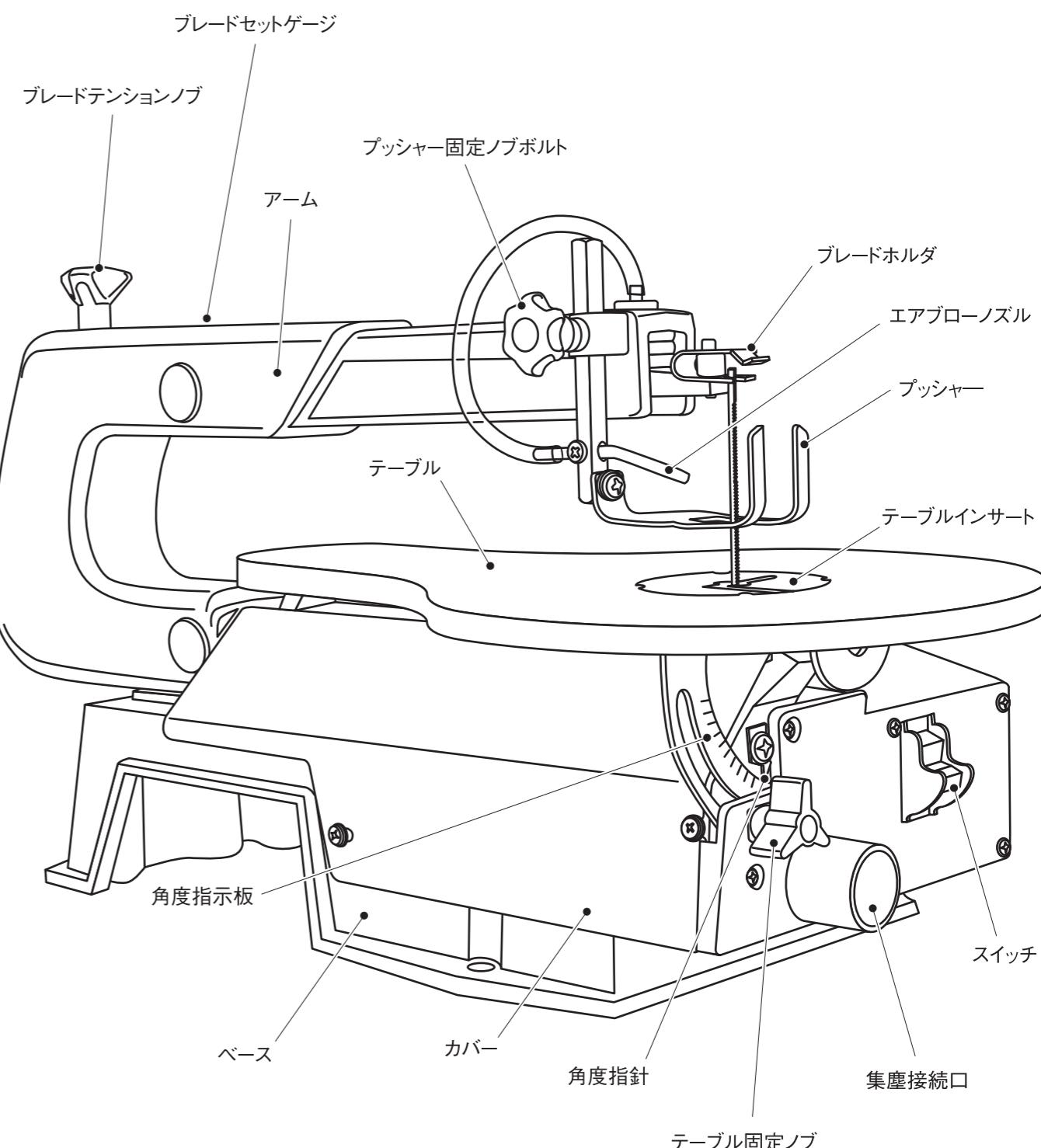
仕様

■標準付属品

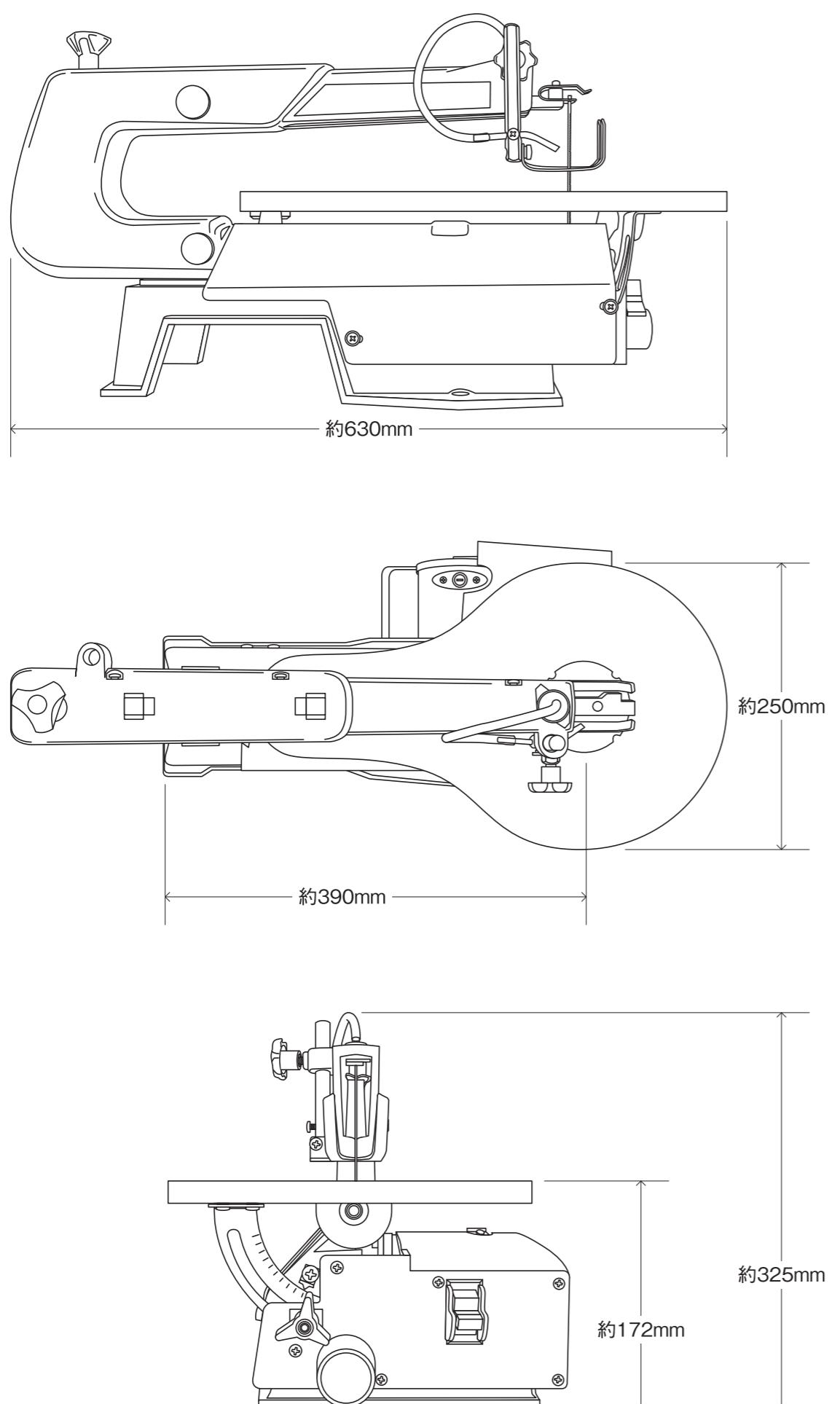
- 六角棒レンチ 2.5mm, 3mm 各1本
- 鋸刃(5本 ピンエンド)
- ブレードアダプタ 2個(ピンなし鋸刃取付用)

型 式	SSC-400PE	
電 源	単相交流100V 50Hz	単相交流100V 60Hz
電 流	1.0A	
消 費 電 力	90W	
無 負 荷 回 転 数	1,500min ⁻¹	1,600min ⁻¹
ス ト ロ ー ク 幅	18mm	
切 断 能 力 の 目 安	木材 50mm	
フ ト コ 口 尺 法	400mm	
テ ー ブ ル 尺 法	250 × 410mm	
テ ー ブ ル 傾 斜 角 度	45度	
コ ー ド 長	2.0m	
本 体 尺 法	全長約630mm × 幅約250mm × 高さ約325mm	
本 体 質 量	約11kg	

各部名称



寸法図



2.安全上のご注意

安全確保のために

- 火災・感電・けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」のすべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いなる方がいつでも見ることができる所に必ず保管してください。
- 他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

警告表示・注意表示について

- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生ずる被害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



この表示の欄は、「使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



この表示の欄は、「使用者が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

「△注意」に記載された事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。



この表示の欄は、製品の据付、操作、メンテナンスに関する重要な注意事項です。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

絵表示について

- お守りいただく内容の種類を、以下の絵表示で区分し、説明しています。



この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。



この絵表示は、必ず実行していただきたい「強制」内容です。行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。



この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。



電動工具を安全にご使用いただくために



■作業場の環境について

- 作業場はいつもきれいに保ってください。
- ちらかった場所や作業台は事故の原因となります。

子供を近づけないでください。



- 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
- 作業者以外、作業場へ近づけないでください。

作業場の周囲状況も考慮してください。



- 電動工具は、雨中で使用したり湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。



- 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。

■電気に関する安全事項

感電に注意してください。



- 電動工具を使用中、身体を、アースされているものに接触させないようにしてください。
(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)

コードを乱暴に扱わないでください。



- コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
- コードを熱、油、角のとがったところに近づけないでください。

屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

騒音防止規制について



- 騒音に関しましては、法令や各都道府県などの条例で定められた規制があります。
ご近所に迷惑をかけないようにご使用ください。

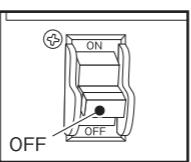
■個人的な警告事項

不用意な始動は避けてください。

- 電源がない状態で、スイッチに指をかけて運ばないでください。



- 電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、
スイッチが切れていることを確かめてください。



きちんとした服装で作業してください。



- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがありますので着用しないでください。

- 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。



- 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

無理して使用しないでください。



- 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。

作業にあつた電動工具を使用してください。



- 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行う作業には使用しないでください。
- 指定された用途以外に使用しないでください。

油断しないで十分注意して作業を行ってください。



- 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周囲の状況などを十分注意して慎重に作業してください。
- 常識をはたらかせてください。
- 疲れている場合は、使用しないでください。

保護メガネを着用してください。



- 作業時は、保護メガネを使用してください。また粉じんの多い作業では
防じんマスクを着用してください。



集塵装置が接続できるものは接続してください。



- 電動工具に集塵機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続し、正しく使用してください。



無理な姿勢で作業をしないでください。



- 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。



防音保護具を着用してください。



- 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い(イヤマフ)などの防音保護具を着用してください。



使用しない場合は、きちんと保管してください。



- 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または錠のかかる所に保管してください。

材料を加工する工具では、加工する材料をしっかりと固定してください。



- 加工する材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。
手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
(加工する材料を動かす製品は除く)



調節キーやレンチなどは、必ず取り外してください。



- 電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取り外してあることを確認してください。

■工具の使用と手入れ



損傷した部品がないか点検してください。



- 使用前に、安全カバーやその他の部品に損傷が無いか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。



- 可動部分の位置調整及び締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。



- 破損した安全カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。



- スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- スイッチで始動及び停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。

- ! 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、
電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- 使用しない、または修理する場合。
 - 刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合。
 - その他危険が予想される場合。



電源プラグ
を抜く

電動工具は、注意深く手入れをしてください。

- よく読む
- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
 - 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - 点検・確認
 - コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
 - 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースなどが切れないようにしてください。

■修理とメンテナンス

正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

- 禁止
- 取扱説明書及びカタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やケガの原因となる恐れがありますので使用しないでください。

電動工具の修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。

- 分解禁止
- この製品は、該当する安全規格に適合しているので、改造しないでください。
 - 修理は、必ずお買い求めの販売店にお申し付けください。
 - 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく事故やケガの原因となります。

卓上糸鋸を安全にご使用いただくために

- 先に電動工具を安全にお使いいただくための重要な事項について述べましたが、
卓上糸鋸をご使用の際には、さらに次に述べる「警告・注意事項」を守ってください。

! 警 告

■使用電源について

使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。

- 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因となります。

必ずアース(接地)をしてください。

- 禁止
- 故障や漏電などのとき、感電の恐れがあります。(詳細は、10ページの
「アース・漏電遮断器設置の確認」の項をご参照ください。)

■安全力バーについて

ブッシャーは必ず取り付けて使用してください。

また円滑に動くことを確認してください。

- 禁止
- 外したまま使用したり、円滑に動かない、
けがの原因となります。



■切断作業について

- 回転部注意
- 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用して使用しないでください。
 - ノコ刃の回転に巻き込まれ、けがの原因となります。

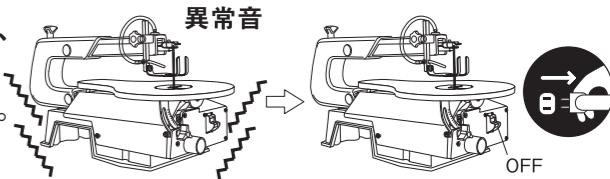
- !
- 使用中は、工具類(ノコ刃など)や回転部、切りくずなどに手や顔をちかづけないでください。
 - けがの原因となります。

- !
- 使用中は、材料を両手でしっかりと保持して切断してください。
 - しっかりと保持しないと、強い反発力が生じた際に、けがの原因となります。

■点検・修理について

使用中、機械の調子が悪かったり異常音がしたときは、
直ちにスイッチを切って使用を中止し、

- 点検・確認
- そのまま使用していると、けがの原因になります。



誤って落としたり、ぶつけたときは、工具類(ノコ刃など)や本体に破損や亀裂、
変形がないことを良く点検してください。

- 点検・確認
- 破損や亀裂、変形があると、けがの原因となります。

! 注意

刃物類(ノコ刃など)や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。

- よく読む
- 確実でないと、はざれたりし、けがの原因となります。

ノコ刃にヒビや割れなどの異常がないことを確認してください。

- 点検・確認
- ノコ刃が破損し、けがの原因となります。

! テーブルの上に、工具や切断片などを放置したまま作業しないでください。

- テーブルの上のものが飛散し、けがの原因となります。

ノコ刃の駆動中は、切断片を取り除かないでください。

- 禁止
- ノコ刃に巻き込まれて、けがの原因となります。

! 材料に釘などの異物がないことを確認してください。

- 刃こぼれだけでなく、反発により思わぬけがの原因になります。

! 材料を押す手を、ノコ刃の延長線上に置かないでください。

- 禁止
- けがの原因となります。

! 作業台がわりにテーブルの上に乗らないでください。

- 禁止
- 思わぬ事故の原因となります。

ご使用前の準備

■作業場について

- 作業場は整頓をし、明るくしてお使いください。
- 作業をする場所が5ページの「電動工具を安全にご使用いただくために」にかかげられているような適切な状態になっているかどうか確認してください。

■延長コードについて

△警告

- 延長コードは損傷のないものを用意してください。

電源の位置が離れていて継ぎコードが必要なときは、製品を最高の能率で故障なくご使用いただくため、電流を流すのに十分な太さのものをできるだけ短くしてご使用ください。

右記表は、使用できるコードの太さ(導体公称断面積)とその最大長さを示しています。

コードの太さ (mm ²)	銘板記載の定格電流値で使用できる最大の長さ	~5A	5~10A	10~15A
1.25	20m	—	—	—
2	30m	15m	10m	—
3.5	50m	30m	20m	—

- 延長コードは本機のコードと同じ被覆を施したコードを使用してください。

■アース・漏電遮断器設置の確認

△警告



アース線をガス管に取り付けますと爆発の恐れがありますので、絶対にしないでください。

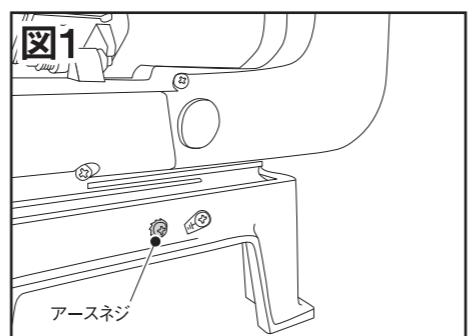
ご使用にさきだち、電源に労働安全衛生規則や電源設備の技術基準などに規定された感電防止用漏電遮断器(以下、漏電遮断器と言います)が設置されていることを確認してください。

また、この機体は必ずアース(接地)をしてください。定格感度電流15mA以下、動作時間0.1秒以下の電流動作型の漏電遮断器が設置されている電源でお使いになる場合でも、より安全のためにアースされるようおすすめします。本体左側側面後方部のアースネジよりアースを必ず取って安全に作業してください。(図1)

テスターや絶縁抵抗計などをお持ちでしたら、アースクリップと機体金属外枠との間の導通を確認してください。

地中に接地極(アース板、アース棒)を埋め、アース線を接続するなどの接地工事は、電気工士の資格が必要ですので、お近くの電気店にご相談ください。

●本体は作動中、上下振動を起こしますので、丈夫で堅い平面に設置・固定してください。(11ページ図3参照)



3.使い方

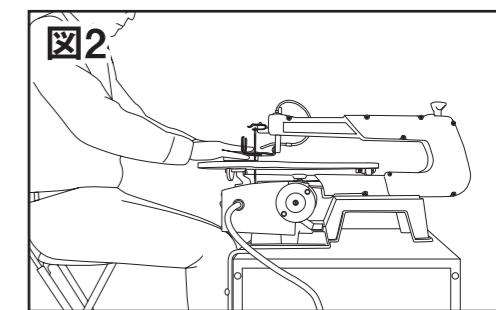
ご使用前の準備

1)機体をアース(接地)してください。

- 接地は本体左側面後方部にあるアース線接続ネジを使用してください。(10ページ図1参照)

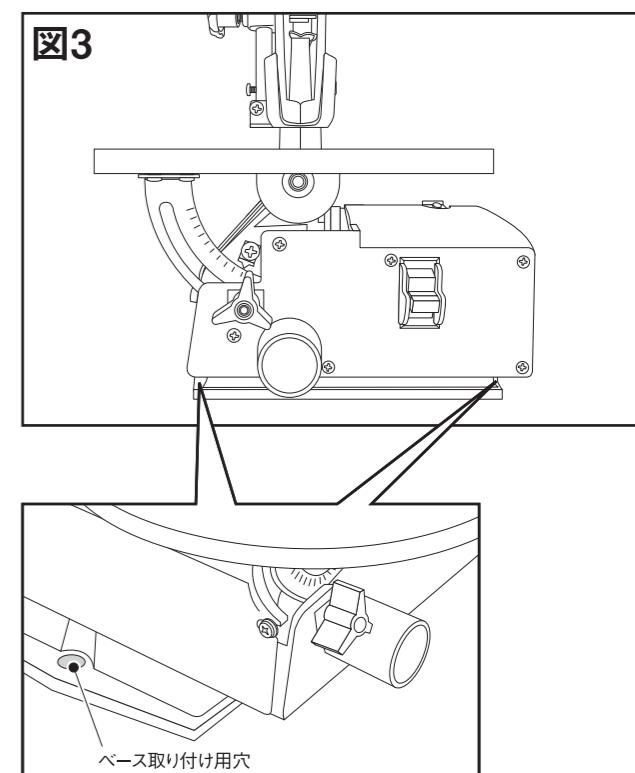
2)本体の設置場所・高さ

- 糸鋸での作業は上半身と両手の動きを要求されますので、適切な姿勢で作業できるように設置してください。(図2)
- 基本は糸鋸本体を丈夫な台の上に置き、少し高めの椅子に座って作業ができるようにしてください。
- 椅子は高めのものを用意して、真正面から本機に向かい両手で材料が自由に動かせるような体勢にしてください。

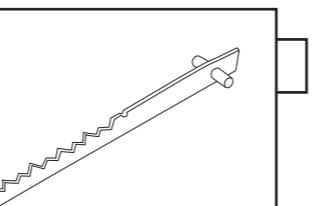


3)本体を設置・固定してください。

- 本体は作動中、上下に震動しますので、頑丈で堅い平面に固定してください。
- 固定には、本体底面にあります取付用穴を使い、木ネジや、ボルトナットでしっかりと固定してください。(図3)



糸鋸刃の取り付け方(ピンエンドタイプの場合)

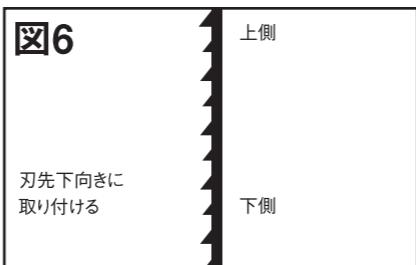
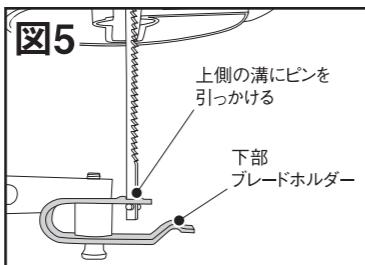


警告 禁止
糸鋸刃取り付けの際は、万一の事故を防止するために、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

- プラグを電源につないだまま行うと事故の原因になります。

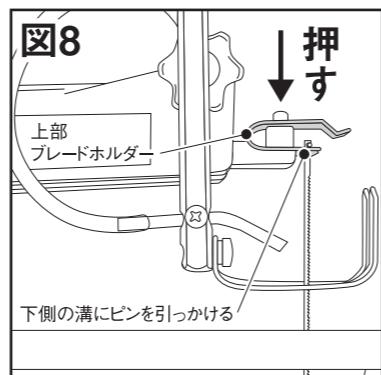
1) 下部ブレードホルダ

- 本体右側側面にありますカバーを取り外してください。プラスドライバーで左側のネジを取り外し、右側のネジをゆるめて取り外します。(図4)
- 下部ブレードホルダの上側にあります溝に、ピンを引っかけてください。(図5)
(ピンエンドの鋸刃は、テーブルインサートの穴から挿入して、下部ブレードホルダに引っかけることもできます。)
注) 鋸刃は刃先が下向きになるように取り付けてください。
(図6)



2) 上部ブレードホルダ

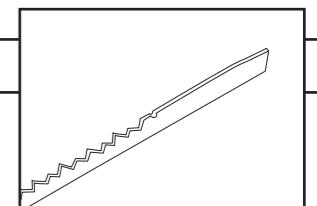
- 本体上部後方にありますブレードテンションノブを反時計回りにゆるめてください。(図7)
- 上部ブレードホルダを下方に少し押しつけながら、ブレードホルダの下側にある溝にピンを引っかけてください。(図8)
- ブレードテンションノブを時計回りに締めつけて鋸刃を張ってください。(張り過ぎますと鋸刃が破損しやすくなります。また、本体の故障の原因になりますのでご注意ください。)



3) 糸鋸刃の取り外し

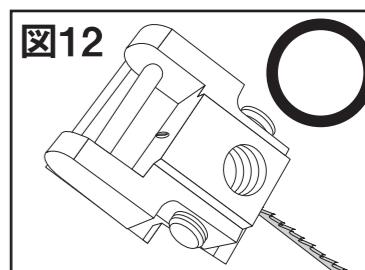
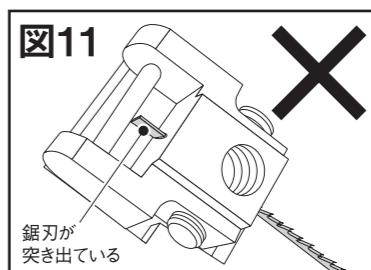
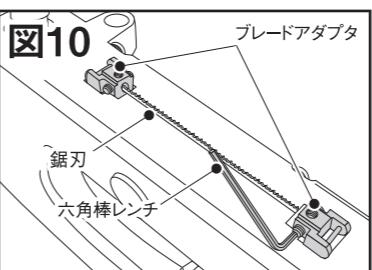
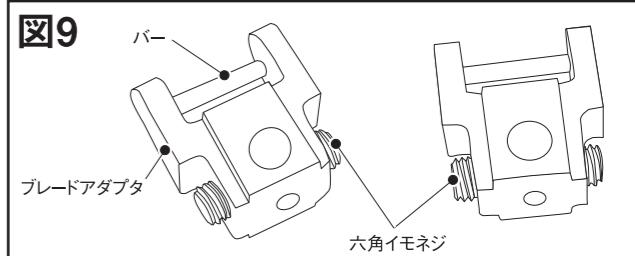
- 糸鋸刃の取り外しは、取り付けの手順を逆に進めて行ってください。
- スプリングシャフトを押し下げて、上部ブレードホルダから取り外します。
- 次に下部ブレードホルダより取り外してください。

糸鋸刃の取り付け方(通常タイプ: ピンなしの場合)



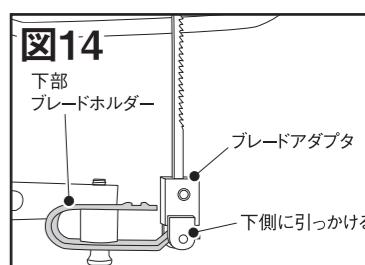
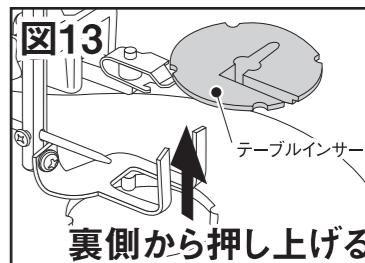
1) ブレードアダプタ

- 付属品のブレードアダプタ(図9)を、鋸刃の両端に取り付けてください。
- ブレードアダプタのイモネジを付属の六角棒レンチでゆるめて(六角2.5mm)、鋸刃両端をアダプタに差しこみます。
- 本体アーム上面にありますブレードセットゲージに、図10のようにブレードアダプタ、鋸刃をセットしてください。
- ブレードアダプタのイモネジを六角棒レンチで締めつけて、鋸刃をブレードアダプタに固定します。(図10)
注) 鋸刃が図11のようになる場合は、ニッパ等で切断いただき図12の状態にしてください。



2) 下部ブレードホルダ

- テーブルインサートをテーブル裏側から押し上げて取り外してください。(図13)
- 下部ブレードホルダの下側に、ブレードアダプタのバーを引っかけてください。(図14)



3) 上部ブレードホルダ

- 本体上部後方にありますブレードテンションノブを反時計回りにゆるめてください。
- 上部ブレードホルダを下方に少し押しつけながら、ブレードホルダの上側にブレードアダプタのバーを引っかけてください。(図15)
- ブレードテンションノブを時計回りに締めつけて鋸刃を張ってください。
(張り過ぎますと鋸刃が破損しやすくなりますのでご注意ください。)
- テーブルインサートを元通りに、テーブルに取り付けてください。



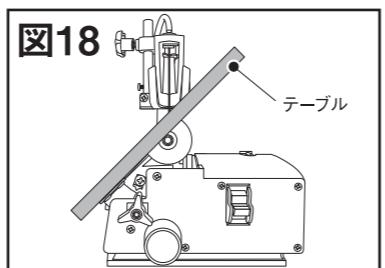
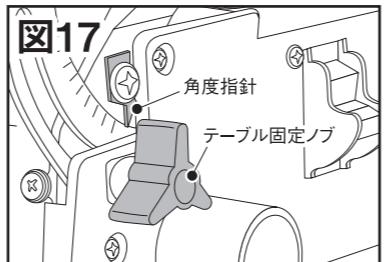
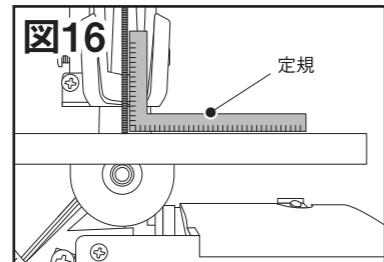
テーブル／プッシャー／エアブローノズルの調整

⚠ 警告

- 調整の際は、万一の事故を防止するために、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- プラグを電源につないだまま行うと事故の原因になります。

1) テーブル角度調整

- 鋸刃とテーブルの直角を定規などで確認してください。(図16)
- 必要があればテーブル固定ノブをゆるめて、テーブル角度を調整してください。調整が合わりましたら、ノブを締めつけます。(図17)
- 角度調整が終わりましたら、角度指針の固定ネジをゆるめて目盛に合うよう調整してください。
- テーブルは最大45度まで傾斜します。(図18)

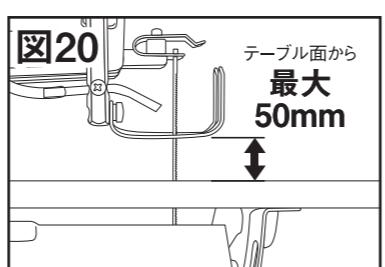
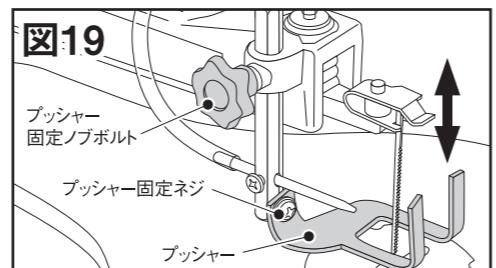


2) プッシャー高さ調整

- プッシャー固定ノブボルトをゆるめて、プッシャーの高さ調整ができるようにしてください。(図19)

⚠ 注意

プッシャーは最大でテーブルから50mmあげることができます。それ以上引き上げますと上部ブレードホルダーにプッシャーが接触しますので御注意ください。(図20)



3) プッシャー角度調整

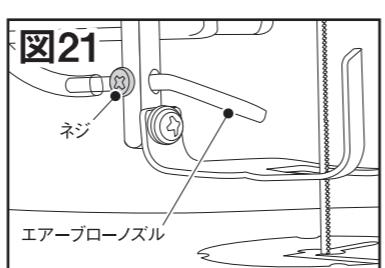
- テーブルの傾斜角度に合わせて、プッシャーの角度も調整してください。
- プッシャー固定ネジをゆるめて、任意の角度に調整出来ます。(図19)
- 調整が終わりましたら、ネジをしっかりと締め付けてください。

⚠ 注意

プッシャーは切断する材料の厚みに合わせてその都度調整してください。プッシャーを調整しないと切断材料がはね上がり、振動や騒音の原因となります。

4) エアブローノズル調整

- エアブローノズルは、ネジをゆるめることで、任意の角度に調整できます。(図21)
- 材料、作業に合わせて調整してください。
- 調整が終わりましたら、しっかりとネジを締め付けてください。



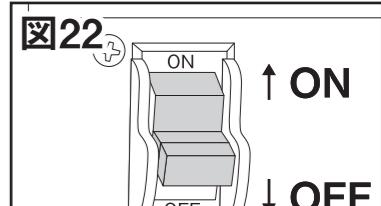
切断作業

⚠ 注意

- 作動させる前に再度、糸鋸刃の選定、取り付け及びプッシャーの位置調整が確実に行われているか確認してください。
- 電源スイッチを操作する際は、糸鋸刃の近くに手や物を置かないでください。
- 切断材料を押す力は糸鋸刃が湾曲しない程度にしてください。

1) 電源スイッチ操作

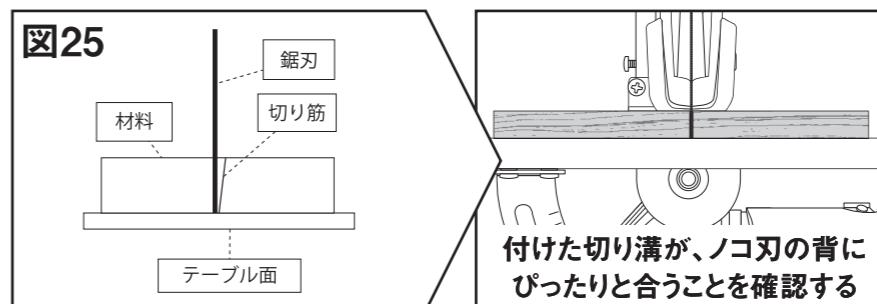
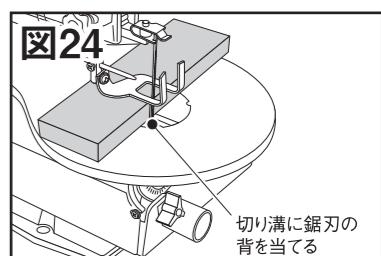
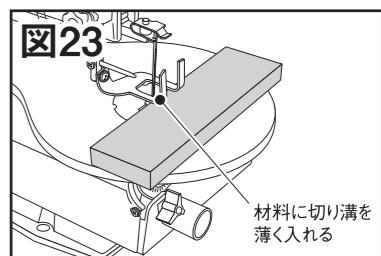
- 電源プラグをコンセントに差し込んでください。電源スイッチを上にあげると電源が入り糸鋸刃が上下運動を始めます。
- 電源スイッチを下にさげると電源が切れて、機械が停止します。(図22)



2) 切断による鋸刃の取り付け状態の確認

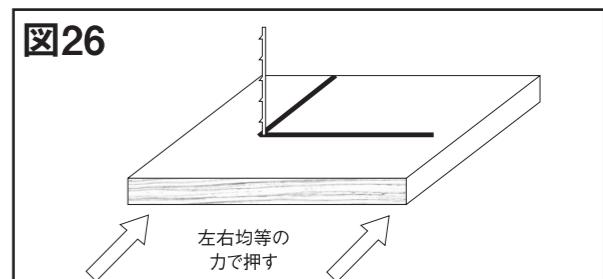
■ 横方向の垂直

- 切断面が垂直(直角)な木材を用意してください。本機を作動させて、木材を鋸刃に触れさせ薄く切り溝をつけてください。(図23)
- 材料を180度回転させて、付けた切り溝を、そのまま刃の背中側に当ててください。(図24)
- 刃が横方向に垂直であれば、刃の背が切り溝にぴったりと合います。合わなければテーブル角度を調整してください。(図25)



3) 直線切断

- 木の目に鋸刃が引っ張られないよう気を付けながら、鋸刃を中心に左右均等で、一定の力で真っ直ぐ材料を押してください。(図26)
- 左右の手で押す力が異なりますと、切断方向が変わってしまいますので、練習を重ねてください。
- 材料が自然に切れていくスピードに合わせて材料を押し進めてください。

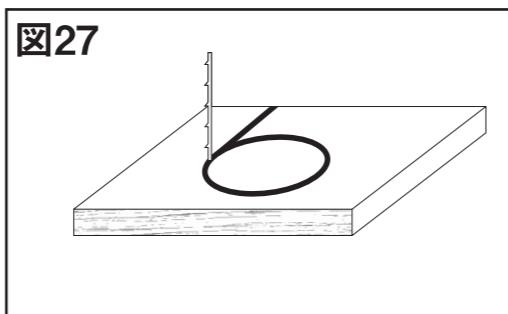


⚠ 注意

刃が湾曲するような強い力で材料を押し付けないでください。刃がすぐに折れてしまいます。

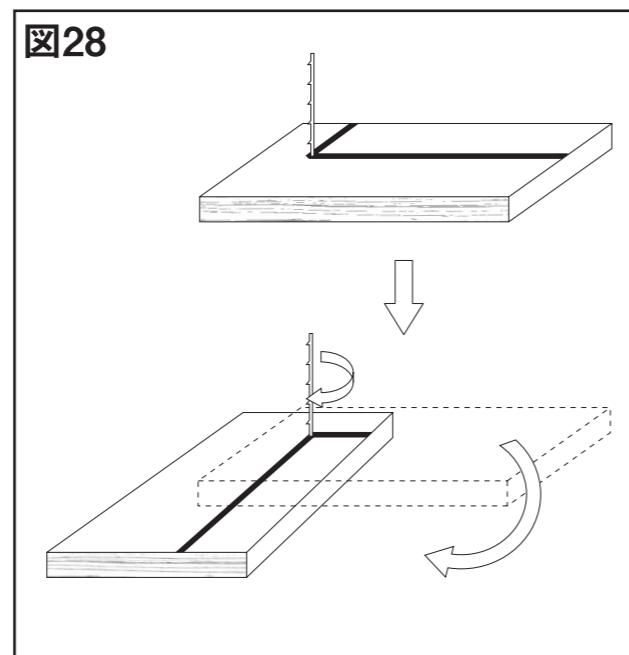
4) 円形切断

- 材料を回転させながら一定の力・スピードを保って切り進んでください。(図27)
- 材料を回転させるために手の添える位置を変えた際に、材料を押す力速度が変わりやすいので注意してください。
- 一周して切り始めの部分にきましたら、角が出ないように注意してください。
- 鋸刃が横方向に垂直であれば、くり抜いた円は上下どちらにもスムースに抜けます。



5) 角切断

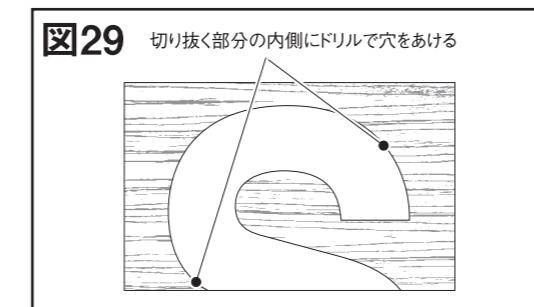
- 1本目の直線の先端まで切り進みましたら、次の切断線が自分側になるように、鋸刃を中心にはじめに材料を方向転換します。(図28)
- 鋸刃が一時的にねじれた状態になりますが、しばらくすると元に戻りますので、鋸刃の向きが正面になりましたら、再度切り進んでください。



6) 中抜き切断

■手順

- 1.あらかじめ鋸刃を通すための穴(6mm以上)をドリルや錐などを使って開けておきます。穴は切り抜く輪郭より内側にあけてください。(図29)
- 2.鋸刃を取り外して、テーブルの上に材料を置きます。
- 3.材料にあけた穴を通して、鋸刃を下側-上側の順に取り付けてください。

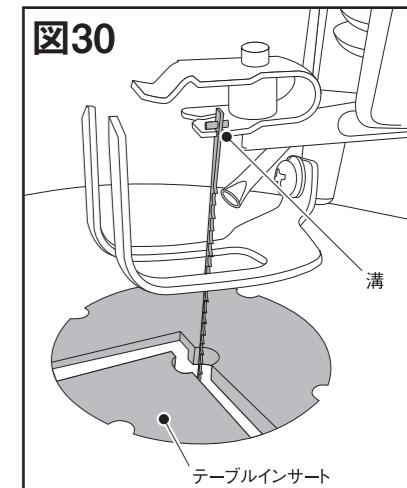


7) 長尺の切断

- 鋸刃を横向きに取り付けることで、フトコロ深さ以上の長さの材料の切断ができます。

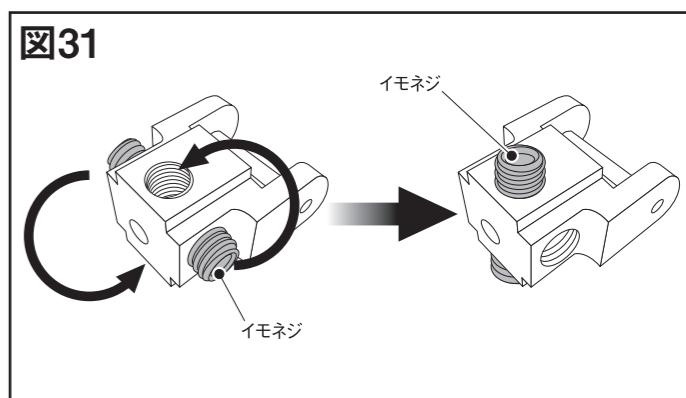
■ピンエンドタイプの場合

- 上下のブレードホルダーの横方向の溝に鋸刃を取り付けてください。(図30)
- テーブルインサートを図30のように方向を変えて取り付けてください。

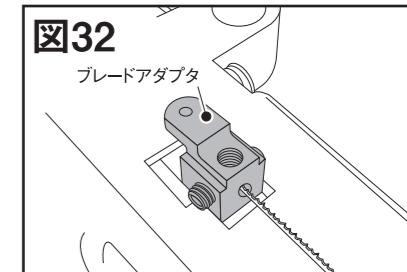


■通常タイプ：ピンなしの場合

- ブレードアダプタのイモネジの方向を図のように入れ替えて取り付けてください。(図31)

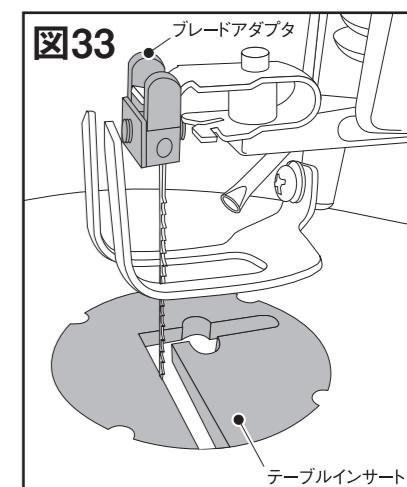


- 本体アーム上面にあるブレードセットゲージで鋸刃両端に、ブレードアダプタを固定してください。(図32)



- テーブルインサートを取り外して下部ブレードホルダの下側と上部ブレードホルダの上側に、それぞれブレードアダプタにピンを引っかけてください。(図33)

- 鋸刃を張った後テーブルインサートを図33のように取り付けてください。

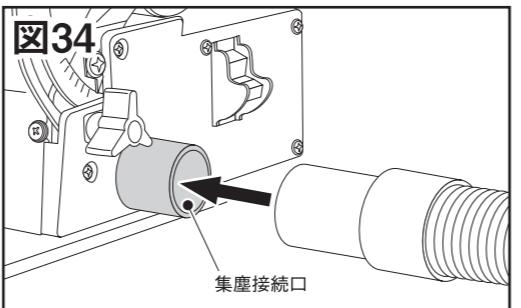


保守・点検

集塵接続口について

■集塵機の接続

- 1.本機をご使用の際は、集塵機を併用することをお勧めします。
- 2.集塵機接続口は本体正面の下方向にあります。(図34)
- 3.集塵接続口の外径は約35mm、内径は31mmです。
※必要に応じて別売の集塵機接続アダプターSAD-HS1をご利用ください。



作業後の保管

- 作業後は必ず電源元よりプラグを抜いて、お子様の手の届かない場所へ保管してください。また、長期間使用しない場合は、ほこりやサビが付かないようにして保管してください。

■清掃

- 粉塵やおが屑はこまめに取り除いてください。特にモーター・スイッチ周辺は粉塵の影響により故障が発生しやすいので注意してください。テーブル面や糸鋸刃に付着した、にかわや松ヤニも丁寧に取り除いてください。特に糸鋸刃に付着した樹液は、切断効率を低下させ、モーター負荷が大きくなり故障の原因となります。

■モーター部の清掃について

- モーターのカーボンブラシ周辺は粉塵の影響が大きいため定期的に清掃してください。

故障内容と対処方法

使用中に機械の調子が悪かったり、異常を感じましたらすぐに機体のスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、以下の点をご確認ください。

- 1.「取扱説明書」を読み直して、使用方法に誤りがないか。
- 2.下記の代表的な症状が当てはまるか確かめる。

症状	原因	対処方法
●“スイッチ”をONにしても動かない。 ●コード内断線。	●電源プラグがコンセントから抜けている。 ●コード内断線。	●電源プラグをコンセントに差し込む。 ●電源コード交換
●モーター焼損。	●換気口に粉塵や異物が侵入し、換気不足。 ●作業中、換気口を手で覆っている。 ●材料に対して糸鋸刃を押し付け過ぎ。	●換気口清掃 ●モーター交換
●切斷できない。	●糸鋸刃の消耗。 ●材料に対して糸鋸刃を押し付け過ぎ。 ●材料、作業に対して不適当な糸鋸刃を使用している。 ●糸鋸刃の取付けが上下逆さ。	●新しい糸鋸刃に交換 ●材料に糸鋸刃を軽く押し当てて、作業に応じて押し進める。 ●糸鋸刃の交換 ●取付けを上下正しく取り付ける。 (12ページ図6参照)

保証書

保証期間内に取扱説明書等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、お買い上げの販売店に本書をご提示の上、修理をご依頼下さい。

形名	卓上糸鋸盤 SSC-400PE	お買い上げ日	保証期間
		年 月 日	1年
お客様	ご住所	〒	
	ご芳名		
	電話		
販売	住所 店名		

※上記欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認下さい。

1. 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
(イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
(ロ) お買い上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
(ニ) 本書のご提示がない場合。
(ホ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
2. 本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には当社までご相談下さい。
3. 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保存して下さい。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。

総発売元



情報サービスセンター : 〒673-0433 兵庫県三木市福井2115-1	Tel.0794-86-8200(代) Fax.0794-83-5160
近畿支店 : 〒673-0433 兵庫県三木市福井2115-1	Tel.0794-86-8210(代) Fax.0794-83-5160
中部支店 : 〒473-0902 愛知県豊田市大林町17丁目7-16	Tel.0565-25-2227(代) Fax.0565-25-2239
九州支店 : 〒841-0056 佐賀県鳥栖市蔵上1丁目220	Tel.0942-81-2307(代) Fax.0942-81-2308
鹿児島営業所 : 〒890-0073 鹿児島県鹿児島市宇宿2丁目22 Bayside marina 101号	Tel.099-285-1748(代)
広島営業所 : 〒731-0137 広島県広島市安佐南区山本1丁目25-11	Tel.082-875-7211(代) Fax.082-850-0311
東京支店 : 〒333-0842 埼玉県川口市前川3丁目19-9	Tel.048-268-3939(代) Fax.048-268-9191
熊谷営業所 : 〒360-0216 埼玉県熊谷市西野68-1	Tel.048-577-3292(代) Fax.048-577-3275
札幌営業所 : 〒003-0021 北海道札幌市白石区栄通15丁目8番36号	Tel.011-374-5528(代) Fax.011-374-5529
仙台営業所 : 〒984-0038 宮城県仙台市若林区伊在2丁目15番地の1	Tel.022-287-5739(代) Fax.022-287-5766
神奈川営業所 : 〒243-0206 神奈川県厚木市下川入867-1 アロードリーム1階	Tel.046-265-0365(代) Fax.046-265-0022
金沢営業所 : 〒921-8066 石川県金沢市矢木三丁目256	Tel.076-240-3630(代) Fax.076-240-3515